

SPECIAL
COUPON

今回「寄り道ふえにーちえ」に
ご登場いただいた「REENO塚」さんより

読者のみなさまへ
ステキなプレゼント!



こちらの「フェニーチェ塚 Vol.34」を
REENO塚さんへご持参いただき、
シフォンケーキを5個以上お買い上げのお客様に限り▶▶

お買い上げ金額より
50円割引いたします。

※お会計時に必ずこちらのクーポンをご提示ください
※クーポンご利用は2026.06.30まで

サ カ イ

☆sacayメイト募集!☆

フェニーチェ塚や堺市文化振興財団で取り扱うチケットを
便利にご購入いただけるサービスです。



登録数
70,000人

登録無料

詳しくは sacayメイト 検索



©オカジマ サエ

「sacay
メイト」
4つの特典

特典 01

先行予約
チケットがいち早く
予約できる
(一部公演を除く)

特典 02

WEB
チケット購入
どこからでも
チケットが買える

特典 03

メルマガ配信
最新の公演情報を
メールでいち早く
お届け

特典 04

その他
お得な情報が
届くかも?

フェニーチェ塚・堺市文化振興財団への寄附のお願い

フェニーチェ塚をはじめ堺市文化振興財団をご支援いただく寄附金を募集しております。
公益財団法人である当財団への寄附は税制上の優遇措置が受けられます。
詳しくはホームページ、又は堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。

TEL.072-228-0114 (平日9:00~17:30) FAX.072-228-0115

情報誌設置場所(季刊)

堺市各区役所情報コーナー、
文化会館、図書館、その他堺市関係施設。
南海線の主要駅。
その他、配布協力施設など。

L I F E
with Mucha

ミュシャ
のある
暮らし

2026.4.4 Sat - 7.26 Sun

19世紀末のバリ。本展では、最も身近な空間である「家」に焦点を当て、
ミュシャがどのように家庭の日常を特別な時間へと彩ったのかをご紹介します。
日々の暮らしの中に息づくミュシャの美の世界を、どうぞお楽しみください。

堺 アルフォンス・ミュシャ館

【開館時間】9:30~17:15
(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(休日の場合は開館)、
休日の翌日(7/21) ※ただし、
4/30、5/4・5・6・7、7/20は開館
【観覧料金】一般 510円/高校・大学生 310円/
小・中学生 100円
【主催】公益財団法人堺市文化振興財団/
堺 アルフォンス・ミュシャ館
【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館
【協力】京都工芸繊維大学美術工芸資料館/
OGATAコレクション

〒590-0014 堺市堺区田出井町1-2-200
ベルマーシェン式番館
(JR阪和線 堺市駅下車徒歩約3分)
【TEL】072-222-5533
【FAX】072-222-6833
【HP】https://muchasakai-bunshin.com

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。
※その他各種提携割引制度があります。

ミュージアムHP

本展に関するイベントやワークショップも開催予定! 詳しくは当館HPで!

F E N I C E
S A C A Y

フェニーチェ塚 2026 Vol.34
まちと劇場

特集
「ロンドン交響楽団 2026
指揮 サー・アントニオ・パッパーノ」
(Pick Up)
「ガボール・タカーチ=ナジ 指揮
ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団
藤田真央(ピアノ)」

●堺のまち・ひとと「トラとウサギの茶飯事」
●寄り道ふえにーちえ「REENO塚」

©オカジマ サエ

～2026.09.30
主な主催公演・イベント

FENICE SACAY CALENDAR

<p>7/13 月曜日 ～20 月曜日・祝</p> <p>ミュージカル</p> <p>ウェンディ& ピーターパン</p> <p>全8回公演</p>	<p>8/19 水曜日</p> <p>コンサート</p> <p>0歳からの 親子で楽しめる コンサート</p> <p>開演11:00</p>	<p>8/23 日曜日</p> <p>ダンス</p> <p>Dance Power 2026 in フェニーチェ堺</p> <p>時間未定</p>	<p>9/5 主曜日 9/6 日曜日</p> <p>オペラ</p> <p>堺シティオペラ 第41回定期公演 オペラ「魔笛」</p> <p>開演 [5日] 15:00 [6日] 14:00</p>
<p>9/13 日曜日</p> <p>クラシック</p> <p>高木凜々子 ヴァイオリンリサイタル</p> <p>開演14:00</p>	<p>9/21 月曜日・祝</p> <p>バレエ</p> <p>東京バレエ団 『白鳥の湖』全4幕</p> <p>開演14:00</p>	<p>9/22 火曜日・祝</p> <p>合唱</p> <p>ザクセン声楽アンサンブル 創設30周年記念コンサート</p> <p>開演14:00</p>	<p>9/30 水曜日</p> <p>クラシック</p> <p>ロンドン交響楽団2026 指揮 サーク・アントニオ・パッパーノ</p> <p>時間19:00</p>

◎文化庁シンボルマークの付いた公演は令和8年度の文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会の助成対象事業です。

チケット購入方法

WEB
電話
窓口

WEB購入
6:00～翌2:00

チケット購入ページ
sacayメイトへの登録が必要です

検索



セブン-イレブン
ファミリーマート
配送、会館引取
(引取)
※配送と会館引取は
クレジット支払いのみ

電話予約
10:00～18:00

堺市文化振興財団チケットセンター
☎0570-08-0089 [チケット
予約専用]
※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

セブン-イレブン
ファミリーマート
配送
(引取)

**窓口
直接購入**
9:00～20:00
一般発売日の翌週より
残席がある場合のみ販売

◆フェニーチェ堺 TEL.072-223-1000
大阪府堺市堺区翁橋町 2丁1-1 (南海高野線「堺東」駅徒歩8分)
休館日: 第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)および年末年始

◆堺市立柘文化会館 TEL.072-296-0015
大阪府堺市南区枕山台 2丁1-2 (南海電鉄北線「柘・美木多」駅徒歩2分)
休館日: 月曜(祝日の場合は開館)および年末年始



フェニーチェ堺

大阪府堺市堺区翁橋町2-1-1

南海高野線「堺東」駅 徒歩8分

中央環状線を堺区安井町交差点方面から
一条通り交差点方面へ進み、施設内へ左折
【駐車料金】30分/200円(最大料金の適用はありません)
【利用時間】00:00～24:00

※障害のある方にご利用いただける専用駐車場(3台)がございます。満車のため敷地内の有料駐車場をご利用された場合は、総合受付にて駐車券と障害者手帳等(身体障害者手帳、療育手帳、精神福祉手帳、障害者手帳アプリ他)をご提示いただきますと無料になります。※駐車台数は94台です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。
※紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。※WEB購入・電話予約での発券・配送には所定の手数料がかかります。
※最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください。都合により、出演者・曲目等の公演内容が変更になる場合がございます。

Editor's Voice 春には新しい発見が3つのうれしいお知らせです。①2026年5～7月の間にフェニーチェ堺主催公演にお越しの方は、終演後に近隣の飲食店6店舗でお得な「チケット提示サービス」が! 詳しい内容はフェニーチェ堺1階チラシラックのパンフレットをご覧ください。②本誌で新コラム「ミュシャからのたより」(P.13)がスタート。「堺 アルフォンス・ミュシャ館」で開催中、もしくは開催予定の企画展の見どころを学芸員さんが紹介します。ぜひ足を延ばしてみてください。③まち歩きのお供にピッタリな「堺区が舞台の創作落語&観光トーク」をYouTubeのフェニーチェ堺公式チャンネルで無料公開中。【まちなか落語めぐり】で検索を!

フェニーチェ堺情報誌 Vol.34

編集:フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)
クエストルーム株式会社
デザイン:赤坂由有(goldfish projection)
イラスト:オカジマ サエ
発行人:公益財団法人堺市文化振興財団

◎公演情報で◎主催/フェニーチェ堺◎と表記されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。

劇場とわたし

09 監督・脚本家・俳優 佐藤佐吉



日常を忘れる、極上の劇場体験

THE フェニーチェ文楽 燃ゆ

～桐竹勘十郎が描く愛の物語～

〈2026年3月1日公演〉

私の実家は東大阪にある。堺は地図の上ではすぐ隣の町だが、交通の便があまり良いとは言えず、これまで足を向ける機会はほとんどなかった。その堺に、こんな立派で豪華な劇場があるとは知らなかった。フェニーチェ堺。雰囲気はまるでヨーロッパの劇場。素晴らしいことに小ホールには文楽の盆回しまであるらしい。開演前、同劇場ガレリアで開催されていた桐竹勘十郎さんの観劇スタンプ原画展をまず鑑賞した。なんと国立文楽劇場の観劇記念スタンプは勘十郎さんがデザインされていたと初めて知り、驚いた。舞台ではあれほど鋭い表現を見せる方なのに、紙の上の線はとてもやわらかい。先日、勘十郎さんご出演の映画『道行き』での達者な芝居にも驚いたが、本当に多才な方である。原画展の中には「養助にいちやん」と書かれた絵もあった。後に師匠となる吉田養助さんが人形を遣っている姿を、まだ十歳だった勘十郎さんが描いたものだという。胸アツ。

今回の演目は「壺坂観音霊験記」と『生写朝顔話』。共通しているのは、どちらの物語にも〈盲目〉の登場人物がいることだ。しかし観終わって胸に残ったのは、まさに今回のテーマである《燃ゆ》だった。共通していたのは、どちらも激しい恋や愛の物語であるということ。そして勘十郎さんは、両方の作品で女方を操られた。師匠である吉田養助師は女方の大家である。今回の演目は、師匠から受け継いだ女方の極意を、後世に示すための舞台のようにも感じられた。

『壺坂観音霊験記』の沢市は盲目の按摩。お里はその妻。すでに26年1月の新春公演でこの演目は観ていたが、今回はまったく別物のようにすら感じた。沢市が自分を卑下する場面、首がほんのわずかに落ちる。そのほんのわずかな角度だけで、長い時間が見えてしまう。目が見えないという設定が説明ではなく、生き方として立ち上がってくる。お里が寄り添う距離も絶妙で、近すぎず、離れすぎず、その間に積み重なった年月がある。崖へ向かう段では思わず息を止めていた。奇跡を待つというより、二人の感情がどこへ行き着くのかを見届ける緊張だった。沢市の目が開く

佐藤佐吉 (さとう さきよ)

大阪府出身映画の監督・脚本家・俳優。99年『金髪草原』で脚本家デビュー。『殺し屋1』や、カンヌ国際映画祭招待作『極道恐怖大劇場 牛頭』など話題作を手がける。05年『東京ゾンビ』で映画監督デビュー。近年は満島ひかり主演『シリーズ江戸川乱歩短編集』の脚本・演出を手がけるほか、役者としても『キル・ビル』や『スパイの妻』に出演するなど多方面で活躍。26年秋には監督最新作が全国公開される予定。



【劇場とわたし】は著名なアーティストや文化人がフェニーチェ堺に足を運び、実際に主催公演を鑑賞して書かれたものです。



瞬間も、歓喜より戸惑いが先に立つ。その微妙な感情の揺れがリアルだった。愛が燃えきった先に、結果として奇跡があるように思えた。

『生写朝顔話』も同じである。深雪の盲目は大きな要素だが、私にはそれ以上に恋の強さが残った。宿屋の段での深雪はほとんど動かない。動かないのに目が離せない。肩の落ち方、袖のわずかな揺れ、顔の傾き。その静けさの奥で、確かに何か燃えている。トークで語られた「間」の話がここで思い出される。動かない時間こそが、最も濃い瞬間になる。大井川の段では、舞台上に川はないのに確かに流れていると感じる。川を渡る決意は理屈ではなく思いの強さだ。その感覚が深く胸に残った。

公演の合間にあった木ノ下裕一さんと勘十郎さんのトークセッションも、今回のもう一つの見どころだった。両演目の共通点として「目が見えない役」と「それを支える役」が挙げられ、人形遣いの技術的な工夫が次々と語られた。目が見えなくなってからどれだけ時間が経っているかによって動作の確かさが変わる点。支える側の人形が、相手の位置を常に意識しながら微妙にずれる動き。これらの話を聞いているだけでも、文楽の奥深さを改めて実感する。勘十郎さんの言葉は穏やかだが、内に秘めた情熱が確かに伝わってくる。木ノ下さんの軽妙な進行も相まって、会場全体が温かな空気に包まれた。

私は文楽を見始めてまだ四年目である。正直に言えば、分からないことの方が多い。それでも、文楽と最初に出会ったときの衝撃だけは忘れられない。とにかく痺れた。圧倒的なパフォーマンスと美。太夫の声と三味線の力に押し倒された。人形の細やかな息づかいは、本当に呼吸しているようだった。三人遣いの呼吸も一糸乱れず揃い、その緊張感に身体ごと持っていかれた。頭で理解する前に、身体が反応した。それは感動というより直感だった。ああ、これは文楽と一生付き合っていくことになりそうだと。そんな私にさえ、勘十郎さんはスーパースターである。かつて『義経千本桜』の狐を観たとき、文楽のイメージが大きく崩れた。古典であり、様式であり、静かな芸能だと思っていた世界に、あれほどの身体性があるとは思わなかった。跳躍、重心、野生の匂い。その人形を操る勘十郎さんは、あの瞬間、私にとってアイドルにもなった。

文楽に没頭していると、自分の境界が薄くなる瞬間がある。まるであの世とこの世の間に立っているような感覚だ。物語を観ているのに、観ている自分が揺らいでいく。娯楽というより、少し危険な領域に足を踏み入れる体験なのかもしれない。その怖さも含めて、私はこの芸能に惹かれている。今回の舞台を観終えて数日経った今も、沢市とお里の寄り添う姿、深雪の儂い表情が鮮やかに蘇ってくる。

Nomura Holdings, Inc. 100th Anniversary Commemorative Performance

London Symphony Orchestra

Sir Antonio Pappano, Chief Conductor

野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念公演

ロンドン交響楽団 2026

指揮 サー・アントニオ・パッパーノ

PROGRAM 藤倉大: Amber Alchemy (世界初演)
マーラー: 交響曲 第2番 ハ短調「復活」

最高に
ドラマティックな
「復活」!



謎解き! マーラーの「復活」

グ スタッフ・マーラー(1860-1911)の《交響曲 第2番 ハ短調「復活」》は、演奏時間80分前後、5つの楽章から成る壮大なシンフォニーです。大編成のオーケストラに二人の独唱者、さらに合唱団まで加わると聞けば、少し身構えてしまうかもしれません。けれども、この曲には聴き手を導いてくれる、はっきりした手がかりがあります。それが「言葉」です。歌詞に耳を傾けることで、この壮大な音楽が語ろうとしているものが、少しずつ、そして鮮やかに見えてきます。

第1楽章から第3楽章までは、オーケストラだけによる音楽です。まずは、何か大きな物語の扉が開いていくのを見守るような気持ちで、この流れに身を委ねてみてください。張りつめた響きが劇的に押し寄せたかと思えば、どこか懐かしさを誘う旋律が現れ、ときには思いがけずユーモラスな表情ものぞかせます。壮麗なオーケストラの響きと、室内楽のように繊細な肌ざわりとが交錯するところに、マーラーならではの魅力があります。次々に場面が移り変わるその面白さは、まるで壮大な音楽のドラマを見るようです。人の声が登場するのは第4楽章から。「おお、小さなバラよ! 人間はこの上ない困難と苦しみの中にいる!」とアルト独唱が、深く静かな響きで立ち上がります。ここで歌われる言葉は、ドイツの民謡詩集「少年の魔法の角笛」に収められたもので、もともとは別の歌曲としてマーラーが作曲したものでした。さらに「私は神から出てきたのだから、再び神のもとに戻ろうとしているのだ!」という一節が出てきます。これは曲の最後に待つ大きな光を、遠くからほのかに予感させるようでもあります。そして第5楽章。30分を超える、作品中でもっとも長大な楽章です。前半では、それまでに現れたさまざまな響きや気配が、巨大なうねりとなって立ち

上がってきます。そして後半に合唱とソプラノ、アルトそれぞれの独唱者が加わります。そこで歌われるのが、「蘇れ、そう、お前は蘇るのだ」という象徴的な言葉。このテキストは、詩人クロプシュトックの詩をもとに、マーラー自身が書き足して完成させたものです。さらに「この世に生まれたものは、いずれ消え去るさだめにある。消え去るものは、蘇るさだめにある」という言葉に導かれるように、音楽は圧倒的な終結へと向かいます。作品の土台にあるのは、キリスト教における復活の思想です。けれども、マーラーの《復活》が今日まで多くの人の心をつかんで離さないのは、それが単なる宗教的なイメージにとどまらないからでしょう。苦しみの中にある人間が、それでもなお希望を求め、ふたたび立ち上がろうとする。その願いが、巨大な音楽となって私たちの前に現れるのです。少し難しそうに見えるかもしれませんが、その先には、静けさから祈りへ、苦悩から希望へと向かう、ほかでは味わえない音楽の大パノラマが待っています。壮大で、深く、そして最後には心を大きく開いてくれるのです。そんなマーラーの《復活》を、ぜひ会場でご一緒に体験してみませんか。



小味 潤彦之 (こみぶち ひろゆき)

音楽評論家。1971年、大阪市生まれ。関西学院大学、同大学院で音楽学を学ぶ。演奏会のための曲目解説、音楽評などを執筆するほか、コンサートのプロデュースも手がけてきた。ステージマネージャーとしても多くの演奏会に携わってきた。同志社女子大学准教授(音楽マネジメント)、豊中市立文化芸術センター総合館長。



ロンドン交響楽団

London Symphony Orchestra

1904年創設の英国最高にして世界屈指のオーケストラ。世代を超え、傑出した楽員たちによって伝統のサウンドをもち、良質で意欲的な音楽の喜びを分かち合っている。2024年からパッパーノが首席指揮者を、ラルが名誉指揮者、ノセダ、ロトが首席客演指揮者を務める。本拠パービカンセンターを中心に年間70回を超えるコンサートを行い、世界の音楽都市も定期的に訪れる。また、教育&地域貢献プログラムである「LSOディスカバー」、ライブストリーミングやオンデマンドによるインターネット配信、そして自主レーベル「LSOライブ」なども世界各地の聴衆と交わっている。「スターウォーズ」や「マエストロ」など数々の映画音楽でも有名。



サー・アントニオ・パッパーノ (指揮)

Sir Antonio Pappano, Chief Conductor

2024年からロンドン響の首席指揮者。イタリア人の両親のもと、1959年ロンドンに生まれた現代最高の指揮者の一人である。英ロイヤル・オペラ、サンタ・チェチーリア管の音楽監督などを歴任。これまでベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響、ボストン響、ウィーン国立歌劇場、METなど世界の檜舞台で活躍する。2025/26年シーズンには、ロイヤル・オペラでの《ニーベルングの指環》も継続するとともに、ロンドン響とは《トリスタンとイゾルデ》を演奏会形式で上演する。録音の多くは国際的な賞を受賞。LSOライブにはエルガーやヴォーン・ウィリアムズの交響曲を録音する。2012年にエリザベス英国女王からナイトの称号(サー)を授与された。



東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。東京、大阪での定期演奏会を核とし、海外公演を含む年間の活動は150回を数える。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。

9/30 水 開演19:00

大ホール

全席指定 S¥30,000 A¥27,000 B¥24,000 C¥21,000 D¥17,000

野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念公演

ロンドン交響楽団 2026

指揮 サー・アントニオ・パッパーノ

世界最高峰のオーケストラ、ロンドン交響楽団がフェニーチェ堺へ。首席指揮者サー・アントニオ・パッパーノが率い、マーラーの大作 交響曲 第2番「復活」と、作曲家・藤倉大の新作《Amber Alchemy》の世界初演を披露します。名門オーケストラの圧倒的な響きと、東京混声合唱団の「復活」の歌声をご堪能ください。

- 曲目 / 藤倉大: Amber Alchemy (野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念 委嘱作) マーラー: 交響曲 第2番 ハ短調「復活」
- ソプラノ / マリア・ベンクトソン ● メゾソプラノ / ノア・ベイナルト
- 合唱 / 東京混声合唱団

◎主催 / フェニーチェ堺 ◎特別協賛 / 野村ホールディングス
◎後援 / プリティッシュ・カウンシル

【5/16(土)チケット発売】

WEB 電話 窓口

チケット取扱い

WEB 「sacaymeit」WEB購入

電話 電話購入

窓口 窓口購入

※詳しい購入方法はP02をご参照ください



チケットぴあ



ローソン チケット



イープラス

未就学児 入場不可



Pick Up
01

ガボール・タカーチ=ナジ 指揮 ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央(ピアノ)

名匠タカーチ=ナジが「ヴェルビエ音楽祭」の精鋭集団で迫る、若きベートーヴェンの傑作。
本音楽祭を「我がホーム」と親しみを込めて語る世界的ピアニスト藤田真央が、協奏曲2曲を披露する注目のプログラム。



世界トップクラスと評されるスーパーエリートオーケストラ。メンバーはウィーン・フィル、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、メトロポリタン歌劇場、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、トーンハレ管、ロンドン響など各国を代表するオーケストラで活躍しており、毎年夏のヴェルビエ音楽祭に集まり常駐オーケストラとして活動。音楽監督のガボール・タカーチ=ナジをはじめ、アントニオ・パッパーノ、マイケル・ティルソン=トーマス、ダニエル・ハーディングなど著名指揮者と共演している。豪華なソリストとも頻繁に共演。ヴェルビエ音楽祭の親善大使として、オーケストラは定期的に世界中をツアーしている。

ヴェルビエ音楽祭とは

1993年から続く、スイス西部の山岳リゾート地ヴェルビエの夏を彩る音楽祭。世界中からトップアーティストと新進気鋭の才能が集結し、10数日間にわたって大小60以上のコンサートとマスタークラス(公開レッスン)が開催される。出演を重ねる音楽家は数多く、指揮者のズービン・メータ、サイモン・ラトル、クラウス・マケラ、ラハフ・シャニヤ、ピアニストのマルタ・アルゲリッチ、エフゲニー・キーン、ユジャ・ワン、アンドラーシュ・シフ、ミハイル・プレトニョフ、藤田真央、ヴァイオリニストのレオニダス・カヴァコス、ジュリアン・ラクリン、チェリストのミッシェル・マイスキーら錚々たる顔ぶれが名を連ねる。

- 〈2025年の出演者〉ファビオ・ルイージ(指揮)
パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)ほか
- 〈2024年の出演者〉アントニオ・パッパーノ(指揮)
ブルース・リウ(ピアノ)ほか
- 〈2023年の出演者〉ヨーヨー・マ(チェロ)
マルティン・フレスト(クラリネット)ほか
- 〈2022年の出演者〉ジャンドレア・ノセダ(指揮)
ルノー・カピュソン(ヴァイオリン)ほか
- 〈2021年の出演者〉ヴァレリー・ゲルギエフ(指揮)
ジャンヌ・ヤンセン(ヴァイオリン)ほか

指揮 ガボール・タカーチ=ナジ Gábor Takács-Nagy

ハンガリー出身、タカーチ弦楽四重奏団の創設メンバーで第1ヴァイオリン奏者(1975年から1992年)。1996年にタカーチ・ピアノ・トリオを、1998年にマイクロコスモス弦楽四重奏団を創設。2002年にカメラータ・ベッレリーヴを創設して以来、オーケストラの指揮に専念している。2011年にはマンチェスター・カメラータの音楽監督、2012年にはブダペスト祝祭管弦楽団の首席客演指揮者に任命された。2013年にはアイルランド室内管弦楽団の首席芸術パートナーに就任。ジュネーブ高等音楽院で弦楽四重奏団の指導にあたるほか、王立音楽アカデミーの名誉会員、ヴェルビエ音楽祭アカデミー室内楽部門の芸術顧問も務める。2007年よりヴェルビエ祝祭室内管弦楽団の音楽監督。



ピアノ 藤田真央 Mao Fujita

1998年東京都生まれ。2017年第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝、19年に第16回チャイコフスキー国際コンクール第2位を受賞。唯一無二の音色と比類なき音楽性は世界的に高く評価され、ピシュコフ、シャイー、エッセンバツハといった名指揮者、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響など一流楽団と共演。主要音楽祭にも多数出演し、室内楽でも高い評価を得る。2025/26シーズンはP.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルとの欧州ツアーや、ボストン響、チェコ・フィル、ウィーン響との共演、カーネギーホールを含む北米ツアー等を行う。22年《モーツァルト・ピアノ・ソナタ全集》でオーバス・クラシック賞受賞。現在、ベルリンでキリル・ゲルシュタインに師事。



10/12 月・祝 開演14:00

S¥26,000 A¥23,000 B¥19,000 C¥16,000 U-25¥6,000 大ホール

ガボール・タカーチ=ナジ 指揮 ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団 藤田真央(ピアノ)

● 曲目 / ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 作品19、ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15、交響曲第1番ハ長調 作品21

◎主催 / フェニーチェ堺 ◎共催 / 読売テレビ

[5/2(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★ Pコード325-167 Lコード56476



チケット
取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入

電話 電話購入 窓口 窓口購入

※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケットぴあ

ローソン
チケット

イープラス

★ 未就学児入場不可

Pick Up
02

6/21 日 開演14:00 大ホール

全席指定 S¥4,500 S¥3,300
A¥2,800

大阪交響楽団 フェニーチェ堺名曲シリーズ Vol.4

地元・堺を拠点とする大阪交響楽団が、初めて聴いてもきつと何かが心に残る曲=名曲をセレクト。クラシック公演が初めての方々にも楽しみいただける公演です。

Vol.4となる今回は、柴田真郁指揮のもと、ソリストには次世代を担うフルート奏者Cocomiを迎え、花の匂いをテーマとした名曲をお贈りいたします。至極の時間をご堪能ください。

- 指揮 / 柴田真郁
- フルーツ / Cocomi
- 管弦楽 / 大阪交響楽団
- 演出 / コダーイ:ガランタ舞曲、ホルヌ:カルメン幻想曲
ドヴォルザーク:交響曲 第8番ト長調 作品88

◎主催 / フェニーチェ堺

[チケット発売中]

WEB 電話 窓口 ぴ 口 e ★

Pコード317-864 Lコード53706



Pick Up
03

7/13 月 ~ 20 月・祝

全席指定 S¥14,000 A¥12,500 B¥9,500

大ホール

Bunkamura Production 2026 / DISCOVER WORLD THEATRE vol.16 『ウェンディ&ピーターパン』



世界的名作「ピーターパン」をウェンディの視点から翻案した話題作が日本再演決定!
芳根京子、Snow Man渡辺翔太のダブル主演で上演!!

- 出演 / 芳根京子、渡辺翔太、鳥越裕貴、松岡広大、富山えり子、玉置孝匡、池谷のぶえ、石丸幹二 ほか
- 作 / エラ・ヒクソン(J.M.バリー原作より翻案)
- 翻訳 / 目黒奈、高田瞳子 ●潤色 / 山本卓卓
- 演出 / ジョナサン・マンビィ
- 美術・衣裳 / コリン・リッチモンド

[全8回公演]

- 7月13日(月) 15:00
- 7月14日(火) 13:00
- 7月15日(水) 13:00、18:00
- 7月16日(木) 13:00
- 7月17日(金) 13:00
- 7月19日(日) 15:00
- 7月20日(月・祝) 13:00

◎主催 / サンライズプロモーション大阪

◎共催 / フェニーチェ堺

[6/14(日)チケット発売]

WEB ★

コンサート 6/29 日 開演18:30 大ホール

全席指定 ¥6,000

清塚信也 47都道府県ツアー 2025-2026 追加公演

卓越したピアノリズムと軽妙なトークで多くのファンを魅了するピアニスト・清塚信也。全国を巡る最新ツアーが、いよいよフェニーチェ堺に登場します。クラシックの名曲から親しみやすい楽曲まで、音楽の楽しさと奥深さを自在に描き出すステージは、まさに唯一無二。心を解きほぐすひとときを、極上の音色とともにお届けします。

※4歳以上チケット必要、3歳以下入場不可



◎主催 / キョードー関西
◎共催 / フェニーチェ堺
[チケット発売中]

WEB 電話



オペラ 9/5 土 開演15:00・6 日 開演14:00 大ホール

全席指定 SS¥15,000 S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000

堺シテオペラ 第41回定期公演 オペラ「魔笛」全2幕 原語上演(台詞日本語)・字幕付



王子タミーノと鳥刺しパパゲーノは、まことの幸せを求め試練に挑む…

- 作曲 / W.A.モーツァルト ●台本 / E.シカネーダー ●指揮 / 柴田真都
- 演出 / 松本重孝 ●管弦楽 / 大阪交響楽団 ●合唱 / 堺シテオペラ記念合唱団
- 出演 / [9/5(土)] 伊藤貴之(ザラストロ)、榎貴志(弁者)、端山梨奈(夜の女王)、西影星二(タミーノ)、古瀬まきを(パミーナ)、畑 奨(パパゲーノ)、高嶋優羽(パパゲーナ)
- [9/6(日)] 山田大智(ザラストロ)、福嶋 勲(弁者)、小川菜奈(夜の女王)、中島康博(タミーノ)、松原みなみ(パミーナ)、木村善明(パパゲーノ)、森田枝小莉(パパゲーナ) ほか
- 特別出演 / 江原啓之

※両日ともに、開演30分前より指揮者によるプレトークあり

◎主催 / 堺シテオペラ一般社団法人 ◎共催 / フェニーチェ堺

[チケット発売中]

WEB 電話 窓口 ひ ★ Pコード315-311



合唱 9/22 火・祝 開演14:00 小ホール

全席指定 一般¥3,000 U-18¥1,000

ザクセン声楽アンサンブル 創設30周年記念コンサート



ドイツ・ドレスデンを拠点とする室内合唱団「ザクセン声楽アンサンブル」の創設30周年記念公演。バロック、ロマン派から現代作品まで幅広い楽曲の数々を、洗練されたアカペラのハーモニーでご堪能ください。

- 曲目 / J.S.バッハ: 来たれ、イエスよ、来たれ、シューマン: トゥーレの王、メンデルスゾーン: 秋の歌、プリテン: フラワー・ソング 2~4 ほか

◎主催 / フェニーチェ堺

[6/6(土) チケット発売]

WEB 電話 窓口 ひ □ e ★



イベント 9/26 日 開演14:00(予定) 大ホール

自由席 ¥500

知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム 「劇場って楽しい!! 2026 in フェニーチェ堺」



知的・発達障がい児(者)やそのご家族、支援者が気軽に舞台芸術を体験できる、フェニーチェ堺恒例の公演企画を今年度も開催します。劇場ならではの、ワクワクするような音楽体験をお楽しみください!

- 対象 / 知的・発達障がい児(者)、支援者、ご家族
- 鑑賞サポート / 全席自由席・車いす席(数に限りがあります)・音量(小さめ)・場内の明るさ(明)・イヤーマフ貸出(先着5台)・手話通訳・じまく・看護師(見守り)

◎主催 / フェニーチェ堺

◎企画・コーディネート / 国際障害者交流センター・ビッグ・アイ

※詳細は決まり次第ホームページにて発表



クラシック 9/13 日 開演14:00 小ホール

全席指定 一般¥5,000 学生(U-24)¥2,000

高木凜々子 ヴァイオリンリサイタル 堺公演(共演:原嶋唯(ピアノ))

若き実力派ヴァイオリニストとして注目を集める高木凜々子が、ついに大阪で初めてのリサイタルを開催します。深い集中力としなやかな感性が交差する、唯一無二のステージをぜひご堪能ください。

- 予定曲目 / J.S.バッハ: G線上のアリア、G.フォーレ: ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 作品13、E.イザイ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ 第4番 水短調 作品27-4



◎主催 / オフィス調雅
◎共催 / フェニーチェ堺

[5/2(土) チケット発売]

WEB 電話 窓口 ★



バレエ 9/21 月・祝 開演14:00 大ホール

全席指定 S¥13,000 A¥10,000 B¥7,000 C¥5,000 D¥3,000

東京バレエ団『白鳥の湖』全4幕



- 演出 / プレメイステル版『白鳥の湖』全4幕 [上演時間約3時間(休憩2回含む)]
- 出演 / 秋山 瑛(オдетット/オディール)、大塚 卓(ジークフリート王子)
- 演奏 / 大阪フィルハーモニー交響楽団 ●音楽 / ビョートル・チャイコフスキー
- 改定振付 / ウラジミール・プレメイステル、(第2幕)レフ・イワノフ/アレクサンドル・ゴールスキー
- 装置デザイン / エレーナ・キンクルスカヤ
- 衣裳デザイン / アレクサンドル・シェジュノフ
- 衣裳製作 / ティマート・プロダクション

◎主催 / 公益財団法人日本舞台芸術振興会
◎共催 / フェニーチェ堺 ◎協力 / 読売テレビ

[チケット発売中]

WEB 電話 窓口 ひ ★



トークライブ 10/23 金 開演19:00 大スタジオ

自由席 ¥3,000

マーキー FreeStyle カルチャー Talk 4

昭和・平成・令和のポップカルチャーをラジオの世界から発信し続けてきた伝説のDJマーキーが、今気になるゲストを招きその魅力に迫る90分! スタジオトークならではのライブパフォーマンスや、ここでしか聴けない舞台裏の話、南大阪ローカルのカルチャートークで毎回盛り上がる人気企画。

- ホスト / マーキー
- アシスタント / 板東さえか



◎主催 / フェニーチェ堺
◎協力 / 株式会社 キッスコーポレーション
◎後援 / FM COCOLO
◎企画 / 株式会社 山川徳久事務所

※詳細は決まり次第ホームページにて発表

WEB 電話 窓口 ひ □ e ★

クラシック 10/24 土 開演14:00 小ホール

全席指定 一般¥2,800 U-18¥1,000

ターリストリオ・コンサートツアー2026 堺公演 一和洋の響きと調和一



ドイツを拠点に欧州で活躍するターリストリオがフェニーチェ堺に登場! 堺が生んだチェリスト岡田琢朗がドイツから迎える2人の奏者とともに、息をみつけぬ駆け引きや心揺さぶるハーモニーを紡ぎ出します。世界で注目される堺出身の作曲家・石若雅弥の新曲日本初演もお聴き逃しなく!

- 出演 / TALISTRIO (ターリストリオ): エリザ・グンマー(ヴァイオリン)、岡田琢朗(チェロ)、コンスタンティン・ルキノフ(ピアノ) ●合唱 / 堺市立大浜中学校 合唱部
- 曲目 / 石若雅弥: For Japanese Seasons (日本初演)、F.メンデルスゾーン: ピアノトリオ 第1番 二短調 Op.49 ほか

◎主催 / フェニーチェ堺

[6/20(土) チケット発売]

WEB 電話 窓口 ★



イベント **8/19** 水 時間未定
大スタジオ・文化交流室ほか

参加無料

夏のこどもワークショップDAY



毎年恒例の夏の小学生向けイベントを今年も開催! 舞台芸術家の谷口直子と一緒に人形劇を中心としたワークショップ『影絵をつくらう』や、大学の文化系部活動/サークルによるお楽しみブースで、アートやカルチャーを体験しよう! 大ホールでは、小学生限定の「夏休みホールたんけんたい」も同時開催。

◎主催/フェニーチェ堺
◎協賛/個別指導アップ学習会
◎協力/桃山学院大学
※詳細は決まり次第ホームページにて発表

コンサート **8/19** 水 開演11:00 小ホール

自由席 入場券¥1,800(大人1名+こども1名) [追加]こども¥500 大人¥1,300

0歳からの 親子で楽しめるコンサート



●出演/関西フィル木管五重奏団:高橋なつ美(フルート)、佛田明希子(オーボエ)、梅本貴子(クラリネット)、陶山咲希(ファゴット)、長野夏弥(ホルン)
●歌のお姉さん/徳田梨沙
●予定曲目/ゆうがたクインテット、森のくまさん、アンパンマンメドレー ほか(約40分)

◎主催/フェニーチェ堺
※入場はこども同伴の方に限る
※0歳から(膝上鑑賞のお子様含む)入場料金が必要
※詳細は決まり次第ホームページにて発表

WEB 電話 窓口

フェニーチェ堺 講座シリーズ 《大人のための「好き」を見つける劇場への扉》

音楽・舞踊・演劇・伝統芸能...劇場には、まだまだ知らない文化や芸術との“出会い”がたくさん。この講座では、各ジャンルのユニークな講師陣が、初心者の方にもわかりやすく、舞台芸術の楽しみ方をご紹介します。予備知識がなくても大丈夫。観て・聴いて・感じることで感性が刺激され、想像力がふくらむ——劇場で過ごすひとときが、日常にちょっとした彩りを添えてくれるはず。新たな“好き”と一緒に探しにいきましょう。

講座 **7/15** 水 開始13:30 大スタジオ

自由席 ¥1,200

第1回 オペラ&バレエ編

オペラとバレエの成り立ちや代表作をやさしく紹介する入門講座。フェニーチェ堺で9月に上演されるオペラ「魔笛」とバレエ「白鳥の湖」のそれぞれの見どころも取り上げ、「なるほど!」となる鑑賞のヒントもお話します。



●講師/岩永智博

◎主催/フェニーチェ堺
[申込受付終了]

WEB 窓口

文化庁



講座 **8/28** 金 開始13:30 大スタジオ

自由席 ¥1,200

第2回 合唱編

おなじみのベートーヴェン《第九》のようにオーケストラと歌うものから、ア・カペラや宗教曲まで、様々な魅力をもつ「合唱」。時代とともにどう変わってきたか、違いを知ると楽しみ方が広がります。



●講師/小味潤彦之

◎主催/フェニーチェ堺
[申込受付中]

WEB 窓口

文化庁



イベント **8/19** 水 時間13:00~16:30 多目的室

参加費 ¥500

ふしぎな百鬼夜行 —ファッションショーの音楽会—



美術家 井上信太による、こども向けワークショップを開催。身近な素材を使って妖怪に変身したり、きらきら光る会場をみんなで作ったり! 最後はガムランや篠笛が鳴り響く音楽に合わせてながら、ランウェイを練り歩くファッションショーを楽しもう。

◆対象/小学生

◎主催/フェニーチェ堺
◎助成/大阪府文化振興基金
※詳細は決まり次第ホームページにて発表

輝け子どもパフォーマー事業補助金事業



ダンス **8/23** 日 時間未定 大ホール

全席指定 一般¥1,000 U-18¥500

Dance Power 2026 in フェニーチェ堺



堺市近郊の高校ダンス部が集結し、熱いステージをつくり上げる夏のダンスイベント! 強豪揃いの出場校の選抜メンバー約100人で踊る圧巻のフィナーレダンスもお楽しみに!

◎主催/フェニーチェ堺
◎協賛/個別指導アップ学習会
[6/27(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口

文化庁

セミナー **8/26** 水 開演14:00 文化交流室

自由席 ¥1,800

ワカテ文楽 鑑賞のツボ ~技芸員とのつどい~



次世代を担う若手を中心とした公演「ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.7」(10月14日開催)の内容と見どころを、若手ならではの着目点なども織り交ぜながら、人気講師の東晴美が楽しく解説します。後半は毎年好評の若手技芸員とのお茶会を実施。いま話題の演目や普段聞けないナインシヨ話まで、「ワカテdeワカル」公演に出演する技芸員を囲んで、お茶を飲みながら気軽に交流ができるひとときです。

◎主催/フェニーチェ堺
※料金には1ドリンク代が含まれます
[5/30(土)チケット発売]

WEB 電話 窓口

文化庁

イベント **7/23** 木・**24** 金 小ホール

¥3,800(1枠)

時間10:00~21:00(1枠55分)

未来の演奏家応援Project オン・ステージ!



フェニーチェ堺では、夢に向かって挑戦する音楽家を応援します。コンクールに向けて本番に近い環境で練習をしたり、オーディションの審査用動画を撮影したりできるよう、小ホールを時間単位で貸し出します。

◆対象/コンクールやオーディションに出場する方
※目的外の利用はできません
※4歳~中学生は保護者の同伴が必要、3歳以下は入場不可
※おひとりにつき2枠まで申込可
◎主催/フェニーチェ堺
・7/23(木):[6/23(火)10:00受付開始]
・7/24(金):[6/24(水)10:00受付開始]

[申込方法] ☎072-223-1000(電話のみ、先着順)

8/30日 【開演14:00】
梅文化会館 ホール

第19回 梅文寄席
「南光 南天二人会」



● 出演 / 桂南光、桂南天、桂弥彦
● 演目 / 開口一番 (桂弥彦)
「火焰太鼓」ほか一席 (桂南天)、「五貫裁き」ほか一席 (桂南光)

全席指定 ¥3,300 (当日¥3,800)

【5/30(土) チケット発売】

◎お問合せ / 梅文化会館 ☎072-296-0015

【主催】梅文化会館
【制作協力】米朝事務所

WEB 電話 窓口 QRコード55275



チケット取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入

窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください



ポッドキャストで公演体験!

フェニーチェ堺
after stage

大ホールと小ホールで行われたフェニーチェ堺主催公演の来場者アンケートの感想を一部抜粋して紹介する、約10分間の音声配信番組「フェニーチェ堺 after stage」。公演にまつわるプチ情報や、終演後に出演者から直接うかがったお話などもお伝えしています。聴取は無料です。



最近の配信内容

- '26 3/21 (土)
「池辺晋一郎がN響レジェンドと贈る映画・ドラマ・ミュージカルの名曲」
- '26 3/18 (水)
「DAIONミュージカル『ガラスの戦士』」
- '26 3/8 (日)
「鳳凰亭落語シリーズ 桂春蝶独演会」
- '26 3/1 (日)
「THEフェニーチェ文楽 人形浄瑠璃文楽『燃ゆ』」
- '26 2/8 (日) 「Happy Jazz Hour!」
- 〈特別編〉マーキー×長谷川義史
「マーキー FreeStyle カルチャー Talk2」アフタートーク
- '26 2/7 (土)
「鳳凰亭落語シリーズ つる子わん丈二人会」

コンサート だけじゃない! みんなのフェニーチェ

フェニーチェ堺では子どもたちや地域の皆様に向けて、毎年様々なイベントを開催しています。楽しみながら多様な文化・芸術に触れることで、きっと新しい扉が開かれるはず!



フェニーチェ堺×ガシバル ディスカバリー! さかい

◎2026年2月3日(火)～2月19日(木) 交流・創作ガレリア

第18回ガシバルとコラボ開催した「ディスカバリー! さかい」。《現在進行形の“街の魅力”をシェアしよう!》のコンセプトのもと、いま堺で起きている新しいカルチャーやアートなムーブメントを紹介しました。堺区のジャズ喫茶「Cafe RVC」からは、店主がコレクションする3,000枚以上のレコードのなかから、選りすぐりのヴァンテージジャケットを36枚展示。同じく堺区の「シェア型書店 HONBAKO」からは、『箱主さん』たちの個性あふれる一箱書店18箱と、本の交換コーナー「本のバトン」が会場へ。美術作家・米田湧泉のコーナーでは木版画作品の展示と木版画作りワークショップを行い、実在の集合住宅「マンションみどり」を舞台に彼手がける“住む×アート”の地域コミュニティ活動も、映像やパネルで紹介しました。他にも堺市立中央図書館がイベントのテーマに合わせて選定した100冊の書籍や、大阪・関西万博でも展示された直径2m/重さ130kgの板金製大屋根リング(株式会社現代工業製作、藤本社監修)、ポルトガルパビリオンの建材を再利用し堺市内で完成したアート作品「Oceano」(ヴァネッサ・バラガン作)も陳列し、1,000人を超える来場者を楽しませました。各展示のキーマンとの対談を収録したポッドキャスト番組は、YouTubeのフェニーチェ堺公式チャンネルで聴くことができます。



企画展「詩するねん!」～ニョッキリニョッキニョッキ ことばが生えた～

◎2026年3月11日(水)～3月18日(水) 交流・創作ガレリア

見る/読む/つくる、様々な角度から詩やことばに触れ、その魅力を楽しむ企画展「詩するねん!」。大阪在住の詩人・詩業家の上田假奈代(かなよ)を案内人に、組み上げた段ボールや自転車などの意外なモノに言葉を書き連ねた作品や、数メートルにおよぶ布地に詩を書き、吹き抜けの天井から幕のように何枚も垂らした作品など、立体的なディスプレイを実施。インスピレーションを刺激する展示となりました。上田假奈代が講師を務めたワークショップでは、みんなで語りながら合作俳句や連詩などの詩作を行い、イメージネーション豊かな時間を共有。期間中にはワークショップ参加者や来場者の作品も展示に加わっていき、日々会場が変化していくダイナミズムも体験していただきました。



まちとアートの交わる場 ～まちなかアートプロジェクト～

堺市文化振興財団では、学校、子ども園、病院、福祉施設、子ども食堂といった地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施しています。クラシック音楽、オペラ、ジャズ、絵画、造形、能楽、バレエ、コンテンポラリーダンス等の様々なジャンルを取り扱い、経験豊富なアーティストと連携して、受入先と調整しながら企画を提案・実施します。また地域の様々な現場で活躍する若手アーティストの育成支援も行っています。

「まちなかアートプロジェクト」とは、地域の福祉施設、子どもの居場所、支援団体等と連携して、地域社会の取り組みに文化芸術が関わる可能性を拓いていく事業です。最近では、堺市ユースサポートセンターと連携した利用者向けのワークショップを実施しています。

これまでは、インドの伝統的な染色技法である「ブロックプリント」で思い思いに布を染めるワークショップ、その場に集まった人たちがひとつの句を創作する「合作俳句」、さまざまな国からやってきた石をやすりで磨いていく「石磨き」、まちに生えている草を写真に撮り、名前と物語をつける「まちくさワークショップ」を実施してきました。

これらのワークショップは、自らの表現したいことを作品に落としこんでいく過程で、自分自身を大切に時間を待つと同時に、他者とのゆるやかな繋がりも感じられたり、ありのままの自分を



け止める一方で、新たな視点でもって世界を捉えるきっかけとなるもので、その過程はとても豊かです。非日常的な芸術体験もまた人生に彩りを与えてくれるものですが、「まちなかアートプロジェクト」では、このように、まちの人々の日常にアートが寄り添うかたちを探っています。

堺市文化振興財団では、これからも、まちとアートの交わる場がさらに広がっていくよう活動を続けていきたいと思っています。



アルフォンス・ミュシャ(フランスの香水「ロド」)1896 紙、リトグラフ、堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵

ミュシャからのたより

19世紀末から20世紀初頭のアール・ヌーヴォー期を代表する芸術家アルフォンス・ミュシャの作品約520点を所蔵する、世界有数の専門美術館【堺 アルフォンス・ミュシャ館】。現在開催中もしくは近々開催される企画展より、注目の作品をご紹介します。

※企画展の詳細は本誌裏表紙をご覧ください。

ランスの香水 ロド

ハンカチに香水を振りかける女性のさりげない日常の一場面を描いた本作は1896年に化学染料などを扱うフランスのメーカーがミュシャに依頼した広告です。女神や精霊のような非日常的な女性像のイメージのミュシャですが、この作品では当世風のファッションに身を包んだ女性が描かれています。彼女が手に持った香水瓶は当時最新のスプレータイプで、白い直線が吹きかけられた香水が表現されています。本作では瓶の腹を押しつけて噴射していますが、実際の香水瓶はガラスの瓶口にプッシュ式の銀の金具が取り付けられていました。ミュシャの描く理想的な美しい女性像は当時の女性からも大人気。この作品以外にもウビガン社の香水瓶のデザインなど女性向けの商品の依頼も多かったようです。現在開催中(4月4日(土)・7月26日(日))の企画展「ミュシャのある暮らし」では実際に販売された香水瓶と一緒に展示しています。香水瓶のラベルにも本作の絵柄が印刷されているので、是非展示室で実物をご覧ください。



サカイトラス サルト
SACAY TERRACE SALTO ☎072-242-3850

フェニーチェ堺での公演鑑賞の前後に立ち寄れる、イタリアンレストラン「SACAY TERRACE SALTO(サカイトラス サルト)」。新鮮な食材を使った定番イタリアンに、高温で一気に焼き上げる薪窯ピッツァ、季節のスイーツも。風を感じるテラスではBBQも楽しめます。大人数でのご利用や貸切にも対応。

●営業時間/11:00~22:00 [ランチ]11:00~15:00(Lo.)
 [ディナー]17:00~21:00(Lo.) [カフェ]11:00~21:00(Lo.)
 ●席数/店内約90席 テラス20席 (テイクアウトあり)



堺のまちひと

Town & people
SAKAI city

MAP 01

トラとウサギの茶飯事

高知県産のお米と物産品で高知県の魅力と食の幸せを発信

取材/文/岩本和子 写真/篠原沙織

堺 区二条通にある米店「トラとウサギの茶飯事」。店に並ぶのは、高知県を中心にした20種類以上のお米と、高知の特産品やご飯のお供。堺にいなながら高知の魅力にも触られます。店主の城敏之さんは、もともと米屋ではなく、結婚前はサラリーマンでした。今の仕事について、「まさか自分が米屋さんになるなんて、想像もしたこともなかった」と笑います。奥様のご実家の家業との出会いをきっかけに米の世界へ入り、高知で13年間暮らしたのち、堺で店をオープン。店頭では、城さんと奥様の直子さんが出迎えてくれます。高知の米には、土地ならではの個性があります。地域によって田植えや収穫の時期が異なり、「7月に収穫する場所もあれば、10月、11月に収穫する場



所もあり、品種も違います。それも面白いところ」と城さん。同じ県内でも育つ環境は様々。そうした魅力を伝えられるのは、城さんが長年、農家と直接つながってきたからです。高知で暮らしていた間、各地へ足を運び、生産者の話を聞いてきました。「どういう環境で、どういう方が、どういものを作っているか。それを自分に落とし込まないと、言葉として出てこないし、説得力もない」。どんな思いで育てられた米なのか知っているからこそ、言葉にぬくもりが宿ります。店では、玄米をその場で精米してもらえます。精米の待ち時間は5分から10分ほど。その間に会話が生まれます。「ただ物売って、お金を払っていただいて終わりではない」と城さん。好みに合う米の選び

方や、炊き方なども、気軽に教えてくれます。精米したての香りに、「うわあ、お米の香りがしますね」と驚くお客さんも多いそうです。子どもたちに玄米と白米の違いを伝えることもあります。また、二階では「ごはんだけ、の会」などのイベントも開き、食事を楽しみながら学べる場も作っています。「目の前に料理があるのは、当たり前であるようで、本当は全く当たり前じゃない」と城さん。「トラとウサギの茶飯事」という店名には、「毎日の食事の大切さを改めて感じてほしい」という願いが込められています。

トラとウサギの茶飯事
 ☎072-220-1822
 〒590-0047 大阪府堺市堺区二条通 2-18
 ●10:00~18:00 ●水・木曜日定休



寄り道 ふえに~ちえ

Drop by FENICE

MAP 02

取材/文/岩本和子 写真/篠原沙織

リーノ さかい
REENO堺
 〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町 6-7-25
 ●6:30~13:00 ●日・月・火曜日定休(※夏季・冬季休みあり) ●Pなし



ふわふわでしっとり、丁寧な手仕事が光るシフォンケーキ専門店

国産の食材にこだわる堺・三国ヶ丘のシフォンケーキ専門店「REENO堺」。2008年からイベント出店などの活動をはじめ、2017年4月にこの地に店舗をオープン。朝は6時半から営業しており、出勤前に立ち寄り人や、夜勤明けに甘いものを求めて訪れる人も多いそう。早い時間から店を開けているのは、日常の流れの中で無理なく買えるようにという店主さんの思いから。シフォンケーキは、前日に焼き上げて一晩寝かせてから販売。「プレーン」240円や「ブルーベリー」290円、「はちみつ」290円など、約8種類のシフォンケーキは、どれもふんわりとした軽さの中に、素材の味がしっとりとなじ

んでいます。果物やよもぎ、甘酒など、その時々のおいしさが楽しめるのも魅力です。「できる限り自分たちでできることはしようと思っています」と店主さん。農家に直接、足を運んで仕入れたり、果物をドライフルーツに加工したりと、丁寧な手仕事が毎日食べたいくなるREENO堺のシフォンケーキを作り出しています。平日でも昼前には売り切れることもあり、その人気の高さがうかがえます。長く通う常連も多く、イベント出店時代からのファンが親子で訪れることもあるのだとか。日々のおやつにも、ちょっとした手土産にもしたくなる一軒です。週替わりメニューや完売情報などは、お店のInstagramでご確認ください。



こちらの誌面をご持参いただき、シフォンケーキを5個以上お買い上げのお客様に限り
お買い上げ金額より50円割引いたします
 ※お会計時に必ずこちらのクーポンをご提示ください
 ※クーポンご利用は2026.06.30まで

